

4. 結 語

手近な資料から、寒気場内でのサイクロジェネシスの一例を概観した。その際、中部山岳風下の地形性擾乱の果たす役割が注目されるが、第3章で簡単に触れたように、この場合大規模場のみでも、サイクロジェネシスが期待できると考えられ、下層擾乱は、渦Bの発生・発達には本質的ではなさそうである。しかしながら、ここでの解析は、現象を大まかに眺めたのみにすぎず、より深い理解の為に、

1. 数値予報で表現された、渦Bの発生・発達の大規

模の様相及びその機構の定量的解析

2. 2次寒気接近の前後における関東付近の中層以下の大気構造の解析と、地形効果があるとすれば、それに対する力学的解釈
- 等の点について、更に調査を進める必要があると思われる。

文 献

- Reed, R.J., 1979: Cyclogenesis in polar air streams, Mon. Wea. Rev., 107, 38-52.

日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
第20回自然災害科学総合シンポジウム	昭和58年9月1日～3日		北海道大学工学部
月例会「大気数値シミュレーション」(第5回)	昭和58年9月3日		気象研究所講堂
第2回統計気候学国際会議	1983年9月26日～30日	WMO ほか	ポルトガル・リスボン
第21回粉体に関する討論会	昭和58年10月17日～19日		神田学士会館
日本気象学会 昭和58年秋季大会	昭和58年10月19日～21日	日本気象学会	仙台第3合同庁舎
第9回レーザーレーダ(ライダー)シンポジウム	昭和58年11月10日～11日		もみじ荘(栃木県塩原温泉)
第9回リモートセンシングシンポジウム	昭和58年11月17日～18日	計測自動制御学会	国立教育会館
第6回極域気水圏シンポジウム	昭和58年12月7日～9日	国立極地研究所	国立極地研究所
第30回風に関するシンポジウム	昭和58年12月9日	日本流体力学会ほか	東京大学工学部境界領域研究施設
第10回国際生気象学会議	昭和59年7月26日～30日		順天堂大学 有山記念館・医学部